

2024 年度 摂南大学 出題内容と学習のポイント

日本史	一般選抜 前期日程（3 科目型）
-----	------------------

●出題内容

問題・解答用紙番号	28・41	
試験時間	70 分	
解答形式	マーク 70%、記述（用語の書き取り）30%	
難易度	教科書に記載されている基本事項を中心とした出題であるが、やや深い知識を求める出題もある。用語の書き取りもあり、難易度はやや難。	
問題の内容（構成）	1/20 実施 28 〔Ⅰ〕北海道（蝦夷地）の歴史 〔Ⅱ〕江戸時代の産業 徳川綱吉の政治 〔Ⅲ〕明治～昭和時代の経済史 〔Ⅳ〕古代～近世の文化史（絵画）	1/21 実施 41 〔Ⅰ〕古代～中世の学問 〔Ⅱ〕天保期の社会 新井白石の政治 〔Ⅲ〕明治～昭和時代の社会史 〔Ⅳ〕日本の離島の歴史

●学習のポイント

①すべての時代・分野をまんべんなく学習する

出題される時代や分野は多岐にわたるので、苦手な時代や分野を残さないようにまんべんなく学習すること。また、リード文はあるテーマについて複数の時代を横断して述べたものが多いので、普段からテーマ史を意識した学習を心がけること。

②用語やその内容を正確に覚える

記述式の空欄補充問題が出題されるので、歴史用語は漢字で正しく書けるようにしておくこと。また、空欄補充問題、文章選択問題の中には、やや細かい知識や詳しい内容を知らなければ正解を絞り込めないものがある。重要な用語については、ただ用語だけを暗記するのではなく、その用語について自分なりに説明ができるくらいに理解を深めておくこと。

③史料の読取に慣れる

重要史料に目を通し、史料に登場する言葉の意味や同時代の出来事を理解しておくこと。特に法令や政策については、それを出した人物や時代背景、それが出された結果どのような変化があったかなどについても合わせて確認しておくこと。

④過去問を活用する

問題の形式や傾向は毎年およそ似たようなものとなることが多いので、過去問に取り組んでそれらに慣れておくこと。また、過去問に取り組む際は、時間制限を設ける、図書館など普段の学習場所とは違う場所で取り組むなどして、試験本番の感覚を身に付けておきたい。